

チュラーロンコーン大学 ASEAN 共同体フォーラムに参加

平成29年8月1～4日に、チュラーロンコーン大学において、大学100周年とASEAN50周年を記念して、ASEAN共同体フォーラムが4日間にわたって開催されました。協定校である埼玉大学からは、メコンプロジェクトの一環として、人文社会科学部研究科・経済学部の副学部長田口博之教授、キティ・リムスクール教授、博士後期課程のワンウィワット氏、トンチャート氏が、8月3日の人材育成セッションに参加しました。

同セッションにおいて、キティ教授からは、タイへの周辺国からの移民の減少による経済シミュレーション（長島正治教授・トンチャート氏との共同研究）及びODAのメコン地域への経済効果について、田口教授からは、タイ周辺国の移民収入の経済効果とその活用策（ニラー日本学術振興会特別研究員との共同研究）、ワンウィワット氏からはメコン地域の人材データベースの構築について、それぞれ研究発表を行いました。



(研究発表の様子。左から田口教授、キティ教授、ワンウィワット氏)